



Q 私たちは週の数日だけ働いているので娘夫婦の子供を預かるのですが、事前に心得えておくことは？

A 子育ての責任は実の父母ですから、娘さんたちの方針を聞いて手助けするスタンスがいいでしょう。

風通しのよい関係づくり

今は働いている祖父母も多くて、孫は可愛いけれど、仕事や体力面に不安があるという方も多くいます。でも共働きの若い夫婦から子供を預かってほしいといわれると「できるだけ力になりたい」と思うものです。アンケート調査でも、7割以上の祖父母が「親自身が子育てをした方がいいが、頼まれたら引き受けたい」と答えています。祖父母が子育てに協力してくれるのは、若夫婦にとって有難いこと。祖父母の孫育てのために時短勤務や孫誕生休暇などの制度を取

り入れている会社もあります。

でも何事もバランスが大事です。若い世代は晩婚化傾向にあるので、昔の祖父母と違って体力が衰えているかもしれません。また、自分の時間がほしいという気持ちもあるかもしれません。若夫婦のためにと我慢し過ぎると、長続きしません。風通しのよい関係づくりとともに、実際に起きうるケースを想定してよく話し合っておきましょう。

若夫婦と孫を見守って

祖父母が孫育てに関与し過ぎると、若夫婦が親として育つ機会を逃してしまうことになりま

す。『育児』は『育児』で、子供を育てることで親も成長します。親の責任と義務を果たすなかで、子供が可愛くなるものです。

夫婦の子育ての方針を聞いて、それに沿う形で孫育てに関わりましょう。良かれと思って必要以上に口を挟むと、実の親子であつても関係が難しくなり、孫にもいい影響を与えません。相談されたら親身に相談にのる、というスタンスがいいでしょう。子供は親が一番です。「おばあちゃんがいい」と孫が言っても、「一時の避難先」だと思つて、若夫婦と孫をゆつたりと見守るのが役目と心得ましょう。